

アスベスト大気濃度測定方法の検討課題について

(平成 23 年度第 1 回検討会に提出済み)

アスベスト大気濃度の測定方法については、今までこの検討会でも色々と検討されてきた。又、東日本大震災におけるアスベスト大気濃度調査についても、環境省及び厚生労働省による東日本大震災アスベスト合同会議で検討されているところである。その中で今後、この検討会で検討が必要な課題について列挙してみた。これらの課題については今後継続的に議論していく事が必要と考える。

「環境省が毎年実施するアスベスト大気濃度調査手法」等の課題

1. 現行の測定方法による電子顕微鏡の結果の取扱いについて
2. 測定の信頼性の確保について
3. 位相差 / 偏光顕微鏡法について
4. 位相差 / 蛍光顕微鏡法について
5. 繊維状粒子自動測定器について

「東日本大震災の被災地で実施している大気濃度調査手法」の課題